

ひがしなるせ

議会だより

発行 No. 161

平成23年4月20日

ちよろしつ



いよいよオープン

なるせっ子夢センターで入園式

3月8日から11日までの会期で定例会が開かれ、平成23年度の各会計予算並びに条例の改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決・同意された。

3月定例会



東日本大震災の翌日に挙行された東成瀬中学校卒業式

施設名	指定管理者	指定の期間
畜産センター	こまち農業協同組合	平成23年4月1日
農産物加工所	なるせ加工研究会	平成23年4月1日
栗駒山荘	秋田栗駒リゾート株式会社	平成28年3月31日
ジュネス栗駒スキー場	ト株式会社	平成23年4月1日
ジュネス栗駒カントリーパーク	エスコーター岳遊会	平成23年4月1日
まるごと自然館		平成26年3月31日

指定管理者を指定

村の6施設について、次のとおり指定管理者を指定した。



谷藤 眞吾 氏
59歳
横手市
(岩井川出身)
任期
平成23年4月1日
～
平成27年3月31日

副村長の選任に同意

副村長について、次のとおり選任することに「同意」することと決定した。

3月定例会議決事項名

平成23年度東成瀬村一般会計予算 (総額31億2,000万円)
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計(事業勘定) 予算 (総額3億3,267万円)
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定) 予算 (総額7,108万円)
平成23年度東成瀬村老人保健特別会計予算 (総額21万9,000円)
平成23年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計予算 (総額2,207万4,000円)
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(保険事業勘定) 予算 (総額3億1,808万6,000円)
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 予算 (総額2億7,663万円)
平成23年度東成瀬村簡易水道事業特別会計予算 (総額3億3,954万8,000円)
平成23年度東成瀬村下水道事業特別会計予算 (総額1億744万2,000円)
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)への繰入れ
平成23年度東成瀬村簡易水道事業特別会計への繰入れ
平成23年度東成瀬村下水道事業特別会計への繰入れ
指定管理者の指定 (2ページに関連記事掲載)
副村長の選任 (2ページに関連記事掲載)

平成22年度東成瀬村一般会計補正予算(第6号) (56万6,000円 減額)
平成22年度東成瀬村国民健康保険特別会計(事業勘定) 補正予算(第3号) (2,835万1,000円 減額)
平成22年度東成瀬村国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定) 補正予算(第4号) (174万5,000円 減額)
平成22年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (32万9,000円 減額)
平成22年度東成瀬村介護保険特別会計(保険事業勘定) 補正予算(第2号) (6,967万8,000円 減額)
平成22年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 補正予算(第2号) (339万7,000円 減額)
平成22年度東成瀬村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) (1,621万9,000円 減額)
平成22年度東成瀬村下水道事業特別会計補正予算(第2号) (3,441万9,000円 減額)
副村長の定数を定める条例 (副村長の定員を1名とした)
特別養護老人ホーム設置条例 (湯沢雄勝広域市町村圏組から譲渡された幸寿苑の設置)
手数料条例の一部改正 (権限移譲により県より移管された事務の手数料を規定)
道路占用料徴収条例の一部改正 (省令改正に伴う道路占用料額の改正)
村づくり活性化資金に関する条例の一部改正 (物産振興資金の貸付期間を3年以内とした)
簡易水道事業給水条例の一部改正 (水道料の納期を年4期から5期とした)
平成22年度土地改良事業(伊達堰地区基盤整備促進事業) 分担金の徴収 (分担金を10aあたり3,123円とした)
村道路線の変更 (谷地線、桶清水線、堤線の起点及び終点の変更)

平成22年度一般会計補正予算(第6号)の主な内容

歳入	歳出
自立支援給付費等国庫負担金減・・・△597万円	公有林整備管理委託料等減・・・△385万円
保育所運営費等国庫負担金増・・・644万円	村づくり活性化対策事業費減・・・△602万円
子ども手当負担金減・・・△252万円	湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金等減
まちづくり交付金・地域活力基盤創造交付金等減	・・・△284万円
・・・△2,335万円	村長選挙費減・・・△252万円
社会資本整備総合交付金等増・・・2,180万円	自立支援給付費等減・・・△435万円
後期高齢者療養給付費過年度分負担金返還金	介護保険特別会計(介護サービス事業)繰出金等減
・・・250万円	・・・△1,861万円
オータムジャンボ宝くじ交付金等増・・・352万円	各種健康診査委託料等減・・・△215万円
臨時財政対策債減・・・△510万円	下水道事業特別会計繰出金減・・・△382万円
市町村振興資金減・・・△1,300万円	団体営土地改良事業費減・・・△219万円
住宅事業債減・・・△150万円	道路新設改良費減・・・△440万円
施設整備事業債増・・・1,010万円	常備消防費負担金等減・・・△712万円
	消火栓設置工事等減・・・△241万円
	社会体育施設整備費減・・・△536万円
	長期債元金(借換債分)減・・・△1,300万円
	財政調整基金積立金追加・・・1億2,000万円
	減債基金積立金追加・・・1,000万円
	予備費減・・・△1,397万円

平成23年度 予算審査報告

一般会計 31億2,000万円
特別会計 14億6,774万円

総額45億8,774万円を可決

平成23年度の予算審査は、議長を除く8名の議員で構成する予算特別委員会(委員長・鈴木秋雄)を設置して、3月10日に行われた。

この結果、一般会計及び特別会計9件の全予算案を「可決すべきもの」として本会議に報告。

本会議においても満場一致で全予算案を原案どおり可決した。

ここでは、予算特別委員会での主な質疑にスポットをあてた。

平成23年度 主要事業

公有林整備事業	3,817万円
奨学金貸付事業	2,796万円
地域活性化資金貸付金	1億円
物産振興資金貸付金	1,200万円
生活バス路線等維持費補助金	400万円
★光放送システム構築準備基金積立金	1,140万円
★地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業	477万円
★改正住基法対応住基システム改修	2,671万円
少子化対策事業	856万円
★任意予防接種委託料	390万円
★新規雇用奨励金	1,392万円
ふるさと雇用再生臨時対策基金等事業	3,871万円
★えだまめ日本一事業補助金	500万円
★新規農業法人等生産基盤整備事業	1億1,120万円
中山間地域等直接支払制度推進事業	3,536万円
★団体営土地改良事業	3,400万円
森林整備地域活動支援交付金事業	910万円
★広葉樹林再生整備事業	695万円
★人と里山がふれあう歩道開設事業	1,050万円
★新規起業等育成支援金	3,500万円
観光施設改修工事	1億4,800万円
村道改良事業	4,030万円
長寿命化修繕計画策定事業	300万円
★住宅リフォーム等促進事業	600万円
★防火水槽工事	500万円
消火栓設置工事	700万円
スキー場利用助成	545万円
社会体育施設整備事業	5,200万円
★診療所医療器具購入	600万円
統合簡易水道事業	2億9,625万円
特定生活排水処理事業(下水道)	2,956万円

事業費300万円以上を抜粋(★印は23年度新規事業)

公有林管理について

問 新年度実施予定の公有林管理の内容と面積を伺う

答 根踏みが5ha、下刈り(二回り)が44・3ha、下刈り(一回り)が4・5ha、枝打ちが20ha、切り捨て間伐が26・4ha、搬出間伐が18・85ha、植栽が5haという内容になっている。

広葉樹林再生整備事業について

問 広葉樹林再生整備事業の内容と実施箇所について伺う

問 旧岩井川コミュニティスキークラスターに広葉樹を植栽する事業である。植栽する樹種については関係者による検討委員会等で協議して決めたい。

答 農産物加工所の指定管理料の内訳を伺う

農産物加工所の指定管理料について

問 農産物加工所の指定管理料の内訳を伺う

答 電話料、水道料、光熱費の基本料金部分と小規模な修繕料、そして屋根の雪下ろし等にかかる経費など、誰が管理してもかかる経費部分を積算して指定管理料とし

て決定した。

政策転換対応型農業支援事業補助金について

問 政策転換対応型農業支援事業費補助金が新規に計上されているが、この内容を伺う

答 平成22年度から農業者戸別所得補償制度が始まっているが、従来の転作奨励金と比べて単価が低い作物があったので、その差額を補てんするため県が補助するものである。平成22年度は水田農業推進協議会の会計を通じて交付されていたが、新年度からは村の会計

を経由することになったので、新規に予算計上することになった。

方言収集事業について

問 新規に方言収集の予算が計上されているが、収集した後、最終的にどのようなようにしようとしているのか伺う

答 方言収集事業は2つの要素からなっている。1つは収集保存すること。もう1つは方言を使ったイベントを実施して村の活性化を図るということである。イベントについては、今後、推進委員会を立ち上げ内容を検討することになるが、方言によるスピーチコンテストや寸劇、ミュージカルの制作など様々なことが考えられる。

縄文□マン事業について

問 新年度の縄文□マン事業の内容を伺う

答 平成20年度から3年間にわたって上掲遺跡の試掘を行ってきたが、新年度はその結果について報告書を作成する。また、一般向けのパンフレットも作成し、村内の全戸に配布したいと考えている。

ふるさと讃歌について

問 ふるさと讃歌作曲委託料というものが新規に計上されているがこの内容を伺う

答 自分達のふるさとの良さをもう一度見つめ直して作詞をし、プロの作曲家にメロディを付けてもらう事業である。小学校1年生から中学校3年生の子ども達が、昨年4月から委員会を作って詞を作ってきた。困った時、苦しい時など折に触れてこの歌を歌ったりしてふるさとへの思いを心に燃やして人生を切り開いて行ってもらいたい。

個人村民税の課税標準額について

問 前年度に比べて課税標準額が大幅に減額となっているが、主な要因について伺う

答 課税標準額については、平成22年度の村民税を参考にして積算したが、農業分の課税標準額が大きく下がっていたことが数字に表れていると考えている。

雪下ろしサービス事業費補助金について

問 冬期間は、子供等のところに行っていて居住していない世帯はこのサービスの対象となるか

答 冬期間居住していない世帯に

対しては補助していない。

任意予防接種委託料について

問 任意予防接種委託料の内容を伺う

答 国と県の助成で行われている子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3種類の接種委託料である。子宮頸がんについては中学生を対象としており、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは副作用の問題で一時的に休止しているが、国の動向を見て実施していきたい。

国保の一般被保険者数について

問 国民健康保険の一般被保険者数を伺う

答 予算としては、一般被保険者を827名で積算している。

村有林売却収入について

問 村有林売却収入が計上されているが、その内容を伺う

答 大柳沼周辺の村有林で、5625本、材積では1185m³を売却し払う予定である。

さわやかなるせ夢プランの推進事業について

問 さわやかなるせ夢プラン支援

事業助成金が増額されているが、その要因を伺う

答 新年度からソフト事業を助成対象とした。助成額も30万円から50万円に増額している。平成23年度は2件分の予算を計上した。

ジュネス休養センターについて

問 新年度予算にジュネス休養センターの指定管理料が計上されていないが、その理由は何が

答 ジュネス休養センターについては、今年の豪雪によりかなり傷んでいるようである。また、ここ数年の利用客減少ということもあり、春の雪消え後に施設の状況を調査した上、今後の運営について検討することにしたので、指定管理料を計上していない。



予算特別委員会

一般質問



佐々木 健 夫 議員

議会指摘の不祥事件発生要因への考えは—

村長／指摘を受けたことが背景にあるとも認識している

問 副村長不在8年9ヶ月、職員在籍年数が長い、退職延長など議会の指摘と事件の関わりに対する村長の考えはどうか。

村長 指摘を受けたことが、背景にあることも十分認識しているが、ただそれだけが全てかと思っている。指摘は真摯に受け止めて対応していきたい。

職員倫理規程を設けるべき

問 不祥事防止のための職員倫理規程を設けるべきではないか。

村長 倫理規程があるないよりも職員の公務員としての倫理観の問題であり、個々が公務員として守るものもしっかり守るということが大事だ。倫理規程については今後検討していきたい。

雪害に対する助成を伺う

問 豪雪で果樹やビニールハウス

など農業施設の被害が甚大であり、これに対する助成について伺う。

村長 豪雪の全被害額はまだつかんでいないが、早く対応するため当初予算に450万円を計上しているし、国・県補助の上乗せや単独補助も考えている。

新年度予算で

農業振興策は何か

問 新年度予算の中で農業振興で所得の向上に力点を置いたものは何か。

村長 農事組合法人滝ノ沢ファームへの支援、枝豆日本一事業補助、農業夢プラン補助、トマトパイプハウス補助、ミニライスセンター設置、リンドウ栽培拡張補助などに力点を置いた。

保育所等複合施設の管理運営と

園長など人事について伺う

問 新しい保育所、児童館、図書館等の管理運営及び園長、保育士、事務員の配置はどのようになるのか。

村長 施設の一階は保育所、二階は児童館、図書室、ランチルームであり、一体的な運営を行うため、法人なるせ保育会に業務委託を考えているが、保育所の給食業務は秋田栗駒リゾートへ業務委託したい。保育士数は園児数によって決まるが、4月1日現在では10名と見込んでいる。しかし、諸々な事で10名では不足になり、2名ほど臨時補充することになる。他の人事については検討中である。また二階には館長を置いて運営したい。

第三セクター経営の見通しと

村の財政支出について

問 第三セクターへの村の持ち出しは、平成20年度6600万円、21年度

他の質問項目

- ・ 総務課の事務分掌について
- ・ 低炭素むらづくりモデル事業について
- ・ 第三セクターと役場職員の関連について
- ・ 診療所の医師不在に関連して

は1億1880万円と大きい。施設の修繕が主なものだが、今後、ますます増えることが予想され、村の財政に与える影響があまりにも厳しい。今後の経営見直しを含めて伺う。

村長 大規模改修で1000万円以上が今後も村が支援していかねればと考えている。スキー場、リフト、プラン、休養センターが大変厳しい状況で、今後も村財政負担が伴うが、雇用の場、地場産品の提供に努めて懸命に改善していきたいので、今後も議会に相談しながらやっていきたい。

(文責は質問議員)



行政報告



文科省から学力調査団が来村

- ▼文科省の学力調査団の一行9名が村の小中学校を訪問。両校とも好評価をいただく。
- ▼地域学習教室の全日程終了。初めての数学教室も生徒に好評。
- ▼統合保育所兼児童館4月供用開始に向け順調に準備進む。
- ▼芸文協発表会開催。観客多数。今後の一層の発展に期待。
- ▼狩猟文化映像保存事業でウサギ巻狩り風景を撮影する。
- ▼チャレンジデー、今年は5月25日に実施される。全村を挙げて取り組む。村民の皆さんのご協力をお願いする。
- ▼22年度の生涯学習教室は、12教室、160名が受講。来年度も魅力ある教室を開設したい。
- ▼秋田県中学校スキー大会で男子アルペン総合で優勝する。全国、東北大会に四名出場。
- ▼ジュネスカップスキー大会で村内児童生徒好成績、新年度もスポーツ文化各方面での活躍を期待したい。

- ▶平成23年度一般会計予算は、31億2,000万円で、2,500万円(0.8%)の増額で計上している。
- ▶新年度は、住宅環境整備の推進、子育て支援の充実、健康づくりの支援策、農林業政策に対し重点的に進めていく。
- ▶新年度から副村長を置き、班体制なども取り入れて、新たな体制を構築し、更なる住民サービスに努めていく。
- ▶今年10月に「とうほく街道会議第7回東成瀬大会」を開催し、文化を切り口とした教育や観光の振興を目指す。
- ▶平成19年度から自殺予防対策に取り組んでおり、民間団体とも連携し、「自殺者ゼロ」の記録を今後も継続していきたい。
- ▶2月に滝ノ沢地区を拠点とする集落営農型農業法人である「農事組合法人滝ノ沢ファーム」が設立。地域農業の中核を担う頼もしい存在として、今後の活躍を期待したい。
- ▶北部簡易水道事業は、新たに中学校付近に浄水場の建築工事に着手する。

子育て・健康・住環境等を重点に



文科省学力調査団訪問



滝ノ沢ファーム設立総会

1月臨時議会

1月20日に臨時議会が開催され、保育所及び児童館設置条例を全会一致で原案どおり可決した。

- 案件**
- 東成瀬村立保育所設置条例
 - 東成瀬村立児童館設置条例
 - 東成瀬村立児童館の名称なるせ児童館
- 定員80人

2月臨時議会

2月16日に臨時議会が開催され、平成22年度一般会計補正予算等の案件がすべて全会一致で可決された。

- 案件**
- 農産物加工所設置条例
 - 光放送システム構築準備基金条例
 - 住民生活に光をそそぐ基金条例
 - 秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更
 - 平成22年度一般会計補正予算(第5号)
 - 平成22年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)

平成22年度一般会計補正予算

主な補正内容		※歳入	
地域活性化・きめ細かな交付金	1,742	地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金	742
今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業費補助金増	710	今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業費補助金増	710
財政調整基金繰入金増	500	情報化対策事業債	500
起業支援事業債	350	※歳出	
光放送システム構築準備基金積立金	1,158	地域活性化・きめ細かな交付金	1,158
地域活性化・きめ細かな交付金事業費	820	今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業費補助金追加	820
地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業費	560	雪害対策費	560
雪害対策費	156	子宮頸がん等予防接種委託料	156
子宮頸がん等予防接種委託料	175	今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業費補助金追加	175
今こそチャレンジ農業夢プラン応援事業費補助金追加	840	新規起業等育成支援金	840
新規起業等育成支援金	405	冬期交通対策費追加	405
冬期交通対策費追加	904	予備費減	904
予備費減	△129		

3月臨時議会

3月28日に臨時議会が開催され、平成22年度一般会計補正予算等の案件がすべて全会一致で可決された。

- 案件**
- 課室設置条例の全部改正
 - 平成22年度一般会計補正予算(第7号)
 - 平成23年度一般会計補正予算(第1号)
 - 平成23年度国保特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)

課室設置条例の全部改正

役場の組織体制を次のとおり改正した。

- | | |
|-------|-------|
| 新体制 | 旧体制 |
| 総務企画課 | 総務課 |
| 税務会計課 | 出納室 |
| 民生課 | 民生課 |
| 農林建設課 | 産業建設課 |
| 成瀬ダム課 | ダム対策室 |

主な内容

平成22年度一般会計補正予算

主な補正内容		※歳入	
地方消費税交付金減	1億9,120	地方消費税交付金増	1,615
特別交付税増	△205	※歳出	
森林公園土地購入費	555	東北地方太平洋沖地震対策費	555
東北地方太平洋沖地震対策費	800	財政調整基金積立金追加	800
財政調整基金積立金追加	093		
	093		
	700		
	△700		

平成23年度一般会計補正予算

※歳出	
東北地方太平洋沖地震対策費	700
予備費減	0
	△700



自治功労表彰

議員として長年地方自治の発展に貢献した功績が認められ、8名の議員が自治功労者として表彰された。

全国町村議会議長会長表彰

議長として7年以上在職者

富田 義行 議長

議員として15年以上在職者

富田 義行 議員

佐々木 謙吉 議員

鈴木 秋雄 議員

秋田県町村議会議長会長表彰

議員として23年以上在職者

佐藤 正次郎 議員

議員として11年以上在職者

谷藤 怜子 議員

高橋 健 議員

佐々木 正夫 議員

佐々木 武氏 (故人)

皆さんからの請願・陳情

3月定例会に提出された陳情は次のとおり決定した。

	件名	審議結果
1	最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める陳情 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中原 秀也 他2名	採択 (意見書提出)
2	労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める陳情 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中原 秀也 他2名	採択 (意見書提出)
3	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める陳情 谷藤 幸夫	採択 (意見書提出)
4	2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情 全日本年金者組合秋田県本部 湯沢雄勝支部 支部長 鈴木 甚郎	採択 (意見書提出)

12月定例会に提出され継続調査とした陳情は次のとおり決定した。

	件名	審議結果
1	辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める陳情 秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵	趣旨採択
2	米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情 安保破棄諸要求貫徹秋田県実行委員会 事務局長 中田 博	不採択
3	米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情 秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵	不採択

延長、副村長の配置などについて、たびたび議員が質すとともに提言もされてきたが、いずれも村長の専権事項ということであるためか、これらに対する適切な措置がとられてこなかった。

●公務員としての倫理について

村には、職員の倫理に関する規程や職員に法令遵守を徹底させるための体制が整備されていないことが明らかになった。

再発防止のための提言

●工事入札指名業者選定委員会の意義及び役割の再確認と権限の強化

工事入札指名業者選定委員会が原課からの案を追認するだけの組織であってはならない。

委員会の審議内容は、審議の過程でどのような意見が出されたかなどの会議録を作成しておくべきである。

また、最終的な決裁者である村長においては、決裁にあたっては、必ず工事入札指名業者選定委員会の審議過程について説明を受け、内容を十分理解した上で決裁すべきである。

●簡易型総合評価落札方式による入札の拡充

村で最も一般的に行われている指名競争入札は、競争性を確保した上で、工事に合わせた施工能力を有する業者を選定できたり、入札参加資格審査等の事務量を軽減できるなどのメリットがある反面、今回の事件のように職員が恣意的に運用したり、指名業者数が少ないと競争性の低下及び談合

誘発というデメリットもある。一方、最も競争性が高いとされる一般競争入札は、ダンピングや工事の品質低下、事故の多発、暴力団関係業者の参入などのデメリットがある。

このようなことから、国や県では、入札価格の高い安いだけでなく、適正な人材配置や労務費の適正さ、消防団員の雇用など会社として社会貢献がどれだけ行われているかなど、総合的にその会社を評価する総合評価落札方式を導入するよう各自自治体に通知している。

村は、これまで村内業者育成という視点を重視してきたが、簡易型総合評価方式による入札を拡充して村内業者の意識改革を行い、これからの厳しい競争に勝ち残れる企業を育成すべきである。

●随意契約の適正化

地方自治法施行令及び村財務規則では、随意契約の条件を詳細に規定しているが、社会情勢の変化に伴い規則が現状に合わなくなっているものがあれば、正式な手続きを経て法に違反しない範囲で改正することもできるであろう。

●契約案件等の議会報告の慣例化

決算時には、議会がチェックできるよう村におけるすべての契約について、入札または見積もり依頼業者名及びその金額を明示した資料の議長の提出を慣例化することを求める。

●適正なサイクルでの人事異動

適正なサイクルで人事異動が行われているかを議会としてチェックできるよう、毎年度当初に在職歴を記載した職員一覧を議

長へ提出することを求める。

●組織体制の大幅な見直し

課長等管理職を含め、1人で判断して事務を遂行することができるような体制を大幅に見直し、細かいことでも必ず複数の職員が関わるような体制づくりをすべきである。

また、交付金事業等、個々の事業内容が各課にまたがる事業については、企画段階から各課の担当者を集めたプロジェクトチームを編成し総合的な事業計画を練り上げるなどの体制も必要である。

●公務員としての高い倫理観の醸成

職員一人ひとりが常に公務員としての高い倫理観を持ち続けること、また、役場全体が職員個々の高い倫理観を醸成できる職場環境であることが重要である。そのためにも、利害関係のある業者、個人等との接触などを規制した「倫理規程」を早急に整備すべきである。

また、職員による不正に対して行政内部からの告発を促すために「公益通報条例」制定について検討すべきである。

おわりに

このような事件を二度と起こさないためにも、今回の事件を契機に村長はじめ職員一人ひとりの意識と組織の変革を強く求めるものである。

失われた村民の信頼を取り戻すため、一歩一歩確実にその足跡を刻んでいくことを期待するとともに、議会としても引き続き注視していきたい。



雪解け間近

早春の北ノ俣沢と成瀬ダム1号橋

四季の ONE SHOT

編集室

- ▼3月11日、午後2時46分。東日本大震災は人々をのみ込み、原発放射能と正に魔の一瞬であった。
- ▼豪雪の苦難を越えたところに追い打ちをかけるが如く、大地震は大気の無情を知らしめた。
- ▼放射能は人類にとって最も恐ろしいだけに一日も早い終結は、世界皆の願い。
- ▼人間は、極限に追い込まれた時に、他の動物とは違いそれを乗り越える知恵を持っている。必ずや放射線も止め復興させること間違いはない。
- ▼来る4月24日は議員の選挙。自治体の発展は議会の活力で決まると言われる。議員一同、これを胸に進みたい。

(委員長・佐々木健夫)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3117
E-mail: gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所

私もひとごと



手倉
佐々木照希さん
(東成瀬中学校2年)

「心に響いた最後の行事」

3月12日、今年最後の学校行事である卒業式が行われた。前日にマグニチュード9.0の大地震に襲われ、電気や暖房がない中での開催となった。そんな中でも、先生方と生徒が力を合わせ、持っている力を出し切ってTBS演奏や合唱を頑張った。僕は、全校合唱「FOREVER」を3年生と歌う最後の機会だと思い、感謝の気持ちをこめて歌った。

僕の兄は答辞を述べ、言葉をつまらせながら、地域の方々や先生方、両親への感謝の言葉を贈った。それを見て、中学校での3年間が走馬燈のように浮かんできたのだった。僕も胸にこみ上げるものがあった。また、21人の3年生の姿を見ると、この3年間が悔いがない、充実したものだったということが感じられ、感動的な式となった。

僕たちのクラスも、3年生の姿を目指して、協力して頑張っていきたい。